

MAKOTO

YOUNG BUDDHIST ASSOCIATION MAGAZINE

✿no.157

Dear.



親愛なるあなたへ

湿原の曇り空を眺めながら
あなたのことを考えています

思うように会えない日々のなかで

私にとって本当に大切なこと

すこしだけわかったような気がします

思いが通じなくていらつき

素直になれなかったときも

自分の無力さに涙をこらえ

逃げ道すらわからないときも

自分で自分のことが嫌になり

存在すら消してしまいたかった夜も

あなたはこう言いましたね



「その苦しみは、自分でしか越えられない

だけど、君を笑顔にできるものがあるのなら

どこだろうと、何年かかろうと、必ず見つけてみせる」と

悲しみに耐え、詰めた私の心の痛みに

たどり着いてくれたあなたの声が

私を包みこんでくれるぬくもりになり

生きるささえになりました

もしも、私が誰かのことを大切に思えるとしたら

それはあなたのおかげです

だから私はあなたを思い歌います

この湿原に

この曇り空に

この世界中に

私のことを大切にしてくれて

ありがとう

心から愛することを教えてくれて

ありがとう

●特集 Dear / 親愛なるあなたへ

4p 生まれてきてくれたあなたへ ～母からのメッセージ～

8p あたりまえ と ありがとう

10p 地元への応援プロジェクトを

12p YouTube 連動企画 —お坊さん YouTuber 特集—

13p 彼國の便り

14p 中央委員任期終了

2年前、私が仏青の中央委員になった年、母をガンで亡くした。

私は家を一度も出ることなく、毎日一緒に暮らしていた。母の体調の変化を、少なからず感じてはいたが、母は医療従事者、毎年健康診断も受けていたし、大丈夫だろうと信じ切っていた。そもそも命に関わる大きな病気が隠れているなんて、夢にも思っていなかった。絶対大丈夫なんてことはありえないのに、なんで母を氣遣ってやらなかったんだろ。もっと早く病院へ連れて行けばよかったと、後悔しても遅いかなかった。もし今もココにいてくれたなら、この数年で大きく変わった私の人生を、その時々で、きつとあの笑顔で見てくれていたんだろうと、思わずにはいられない。

母が亡くなった翌年、私は婚約し、結婚式を挙げた。

高砂から見る家族テーブル。
その席に母がいない。



Dear. 生まれてきてくれたあなたへ

～ 母からのメッセージ ～

中央委員 田淵真味子



先に結婚した妹のときのように、一緒にドレスを選んだり、母に仕上げの口紅を塗ってもらったり、パージョンロードを歩く前にヴェールを下げてもらったり。その度に私は泣いて、メイク落ちを気にするんだろっな、どうやったら泣かずにすむんだろっつと、気にしていたことも叶わなかった。

そんな寂しさの中、私と母を繋いでくれたのが、お腹に宿った小さな命だった。結婚式で使用する写真を探していたときアルバムをめくるたびに目に入ってくる幼い頃のたくさんさんの写真達。どうしても涙を止めることができなかった。一緒に写っている母の笑顔が優しい。初めての妊娠で毎日不安でいっぱいだったから、母に愛されていたんだなあと余計に感じられた。数ヶ月後、同じように写真を撮るんだろっなと心も弾んだ。母を失った悲しさは消えないけれど、その先に、ちゃんと大切なことが待っていた。

Dear. 生まれてきてくれたあなたへ

～ 母からのメッセージ ～

そして、令和2年3月。私は男の子を出産した。新型コロナが流行り始め、面会制限で会えるのは夫と両親のみ。父を産院まで車で送ってくれた妹は駐車場で待機。会うことができなかった。しかし私達はまだマシな方で、その後出産した方々は夫の面会すらできなかったという。そんなコロナ禍で「いつか会える」と「もう会えない」の意味を実感した。「退院したら、時間が経てばいつか会える」でも「母には息子を会わせてあげられない」「もう会えない」のだ。

それは母の三回忌でも感じた。家族親戚が集まる大切な場。コロナの影響で遠方の兄は出席できず、リモート法要。画面の向こう側できちんと喪服を着ている兄との距離はやっぱり遠い。会いたかった。普通の日常、大切な時に会いたいのに会えない悲しみ。リモート画面を切る前の「落ち着いたら会おうね」が希望となった。

出産後、子育ての中、母という存在の大きさを知った。おむつ交換、授乳、寝かしつけ……



初めてのことに戸惑いも不安も大きい。でも、私には相談できる母がいない。その前に息子に会わせてあげられなかったことが無念でならない。そんな中、嬉しかったことは息子が母と同じ「子年」だったこと。お箸やスプーン等、我が家では干支のモノを使うことが多かった。母の死後、もう使うことはないと思っていたネズミのモノ。実家の食器の引き出しを開けるたびに感じていた寂しさが、今では嬉しさ変わった。もう少し大きくなったら息子にこのネズミのスプーンを使わせてあげるんだと。「あなたは、ばあばとおなじ子年なんだよ」と。

その後徐々に、家族だけでなく親しかった友達とも再会できるようになって、これまでの日常がどれほど大切だったのか振り返らずにはいられない。私にとってその「これまでの日常」が、さらに母との思い出を強くし、あらためて母から大切なメッセージを受け取ったような気がする。この日常を大切にしないくちや。ありがとう。

中央委員 田淵真味子

あたりまえと ありがとう

中央委員 松本光生



新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方には心よりお悔やみ申し上げます。また医療従事者の方々、様々な業種において影響を受けられた方々のご苦勞はいかほどかと拝察致します。

私は普段は金融機関で働いており、ライフワークとしてお寺とかかわり仏書で活動している。都心でコロナの感染者が広がりとつある2020年2月、働き方にも影響が出てきた。極力対面ではお客様に会わないだとか、会議での出張が延期されたり、マスクが手に入らない状況になりこの先どうなるのか、おぼろげに不安を感じていた。そして3月その日は突然やってきた。

「学校の一斉休校」のニュース。社内でも共働きの家庭は沢山いる。これは大変だ。幸いウチは娘が中学生なので一人でお留守番もできるので大丈夫だが、小さいお子さんのいるウチはどうするのだろうか？ 社内でも世間でもその話題で持ちきりだった。誰が子供の面倒を見るのか？ どっちかが有給休暇を取得できるのか？ 私の周りもザワザワしていた。

そんな中、同僚のAさんが放った一言に衝撃を受けた。「そうは言っても自分の子だもん。自分で守らなきゃ。俺、有給全部取っちゃおうかな」

幼稚園、保育園、小学校、中学校、子供は平日誰かが「当たり前」のように見てくれているのを前提に社会活動がなされてきただけに、衝撃だった。当然、環境はそれぞれであり、できるできないはあるにせよ、「自分の子供は自分で守る」のは親としてシンプルにカッコイイと思った。と同時に、3年ほど前の仏青の研修会で、荻指導講師が言われた「当たり前前の対義語はありがとう」という言葉を思い出した。私はこの言葉に感銘を受け、娘の小学校の卒業式にPTA会長として、当たり前前に過ごしている日々には、お父さんお母さん、先生、地域の方々の働きがあり、想いがあり、感謝をする事の大切さを祝辞として贈った。それほど好きなこの言葉も、この「当たり前」な毎日が無くなって初めて感謝を痛感する事になった。

3月末になり、緊急事態宣言に伴い、今度は私自身も在宅勤務となった。最初の1週間は戸

惑いの連続だったが、楽観主義な私は2週目には「これはチャンスなのかも」と思い始めた。社会人になり約20年、ノルマも無くなり、働く事も許されない。開き直れば、ノンプレッシャーの長期休暇なんじゃないかと…。そうなれば、外出こそできないが宿題の無い夏休みなわけで、とことん家族と過ごしてみようと、気持ち切り替えた。

まずは料理に挑戦。魚の煮付け、バジルから作るジェノペーゼパスタ、きのこのポタージュ。鳥むね肉のハム。レパートリーも増えていった。娘も手伝ってくれて、会話しながら料理する時間は、至福の時間となった。味は、レシピ通りに作るのではぼぼ美味しく決まっている。娘の中学校のプリントをコピーして、一緒に解いてもみた。すでに娘の方が賢い教科もあって、娘の成長を感じたり…。そんな毎日を過ごす中で、ふとなんでこれまで一生懸命仕事していたのかな？と考える事があった。「当たり前」の様に仕事をしていた毎日。この「当たり前」の働きには、きっと家族との時間だったり、人生を豊かに過ごしたいという想いがあった事に気付かされた。

在宅勤務が終わり、まだコロナの影響はあるものの、仕事も通常モードに戻りつつある。アフターコロナやウィーTHコロナと呼ばれる環境では以前に比べWEB会議が主流になり生活様式も変わりつつあるが、私にとってコロナがもたらしたものは、家族との時間であり、新しい価値観だった気がする。人生をもっと楽しみなきゃ！

追伸、昨年の夏に娘が水上バイクに乗ってみたいといった夢をまずは叶えようと即行動。免許を取得。これからどんどん行動し夢を叶えたいと思う。



コロナ禍で

地元への応援プロジェクトを

中央委員 池上龍之介



三次ケーブルテレビの番組より→
<https://youtu.be/0F7g38ZNs7c>



僕たちが、この「びほく応援プロジェクト」を立ち上げたのは、新型コロナウイルスの影響がきっかけだった。

当たり前のように生活していた毎日が、変わってゆく姿を目の当たりにした。当初は他人事みたいにな「外国は大変だね」って思ってたただだったんじゃけど、突如、隣町でクラスターが発生。町は寂れたかのように人は出歩かず、車が込み合う時間帯にも一灯の光すら感じなかった。

もちろん、営業職をしている僕にも、ただならぬ影響があった。僕たちが影響を受けただけでなく、もっと深刻に悩んでいる事業者の方もおるんじゃないかなあって思っていた矢先、飲食店を経営している知り合いの店長から、タダでもいいから食べに来てほしいと連絡があった。詳しく話を聞くと、新型コロナウイルスの影響で在庫が余り、廃棄をせざるを得ない状況だとのこと。普段、笑顔の場を提供してくれるお店が…って思ったと同時に、どうにかしなきゃと考えて行動に移した。

一人ひとりができることで地域を応援する活動を、SNSで発信を少しずつ利用者を増やした。都会みたいないな集客力はないものの、田舎ならではの団結力で今も支え合うことができているのではないのかと知っている。一人では太刀打ちできないこともみんなで見守りを出し合えば乗り越えられることを感じた。

その力も、人から人に伝わっていけばええな。



びほく
応援プロジェクト

TOP 取り組み テイクアウト店舗

○ テイクアウト店舗

店舗一覧 庄原のカフェ 庄原のこはん屋さん 三次のカフェ 三次のこはん屋さん



庄原 こはん屋さん

■ 富久屋

海鮮ちらしめし 850円〜にぎり南し[...]



庄原 こはん屋さん

■ 成田屋 ぎょうざい

オードブル3000円+税出来ます[...]



三次 こはん屋さん

■ 興出雲蕎麦処 一福三

次店

オスメは蕎麦弁当 800円(税込)[...]



庄原 こはん屋さん

■ いざ味

お好み焼きのメニューから選ばれ、一品料理[...]



庄原 こはん屋さん

■ レストラン来里

自家製の生地やソースにこだわって作って[...]



庄原 こはん屋さん

■ 有限会社 比翼観光

センター
おつまみからご飯ものまでテイクアウト[...]



庄原 こはん屋さん

■ 西田鮮魚店

唐ウチヨセット 全額はお刺身お取り[...]



三次 カフェ

■ ネコのあし登

サンドイッチ、スープ、スパイスカレー[...]



庄原 こはん屋さん

■ 風龍庄原店

全品50円引き！※焼きめしセット、[...]



三次 こはん屋さん

■ 美食酒場ともやんく

・日替わり弁当650円・かつおタタキ[...]



三次 こはん屋さん

■ 天福・ざれど青き空

を知る
LINEのQRコードがありますので、それ[...]



庄原 こはん屋さん

■ ドライインミッキ

二
その他ご希望のメニューがありましたらご相談[...]

Contents

- TOP
- 取り組み
- テイクアウト店舗
- お問い合わせ
- プライバシーポリシー

最新情報

2020年05月20日

市役所への弁当配達を始めました

2020年05月10日

テイクアウト・デリバリーを4月3日
以降に始めた皆さまへ

2020年05月07日

びほく応援プロジェクトは庄原・三次
市内のお店を応援します！

過去の投稿

2020年5月 (3)

<https://bihoku-ouen.com>

彼國の便り

法 話

仏教青年連盟指導講師

森川晋乗



「お父さん。既読になってるのに、なんで返事してくれへんの？」

息子から言われた一言です。私は「ごめんごめん忙しかったんだよ」と言いました。

後に、この「既読」という表示がいったいどんな意味をもつのだろうと、ふと考えました。メッセージを送った息子は、何かしらの反応を待っているにもかかわらず、私はメッセージを読んだ後、返信をせずに既読スルーをしていたのです。

多くの方は、手紙やメール・SNSを使って大切な方にご自身の思いや要件をお伝えになった経験があると思います。またその逆に、大切な方から様々なメッセージを受け取れたこともあると思います。私は、自分が興味があることに對しては、すぐに返信をします。しかし、興味の無いものに對しては、読んだとしても返信すらしていないかったりと、いま

思えば相手に對して失礼なことをしていたと、気づかせていただきました。

親・恋人・友達そして周りの方々が、どれほどあなたのことを大切に思っておられることでしょうか。私が相手のことを大切に思うことも大きなことです。が、相手から大切に思われているということも忘れてはならないことです。会えないから・離れているから繋がっていないのではありません。会えないからこそ分かることがある。離れて初めて分かることもある。そうやって人は大切な人との繋がりを感じているのではないのでしょうか。

そして、私たちが御本尊と仰ぐ阿弥陀如来という仏様は、誰よりも私のことを大切に思ってください。『必ず救う。我に任せよ』私はここに居るよと、常に私にメッセージを送ってくださいているのです。阿弥陀如来様が送られたメッセージが私に届き、それ

を私が読んだ（聴いた）ということは、阿弥陀如来様のスマートフォン画面には既読という表示が出ているはず。です。

では、どんな返信をすればいいのでしょうか。私たちは仏様の前に座った時、手を合わせて「なんまんだぶ（南無阿弥陀仏）」と称えます。その「なんまんだぶ（南無阿弥陀仏）」は、阿弥陀如来様のお名前を呼ばせていただいていることであり、まさしくそれが阿弥陀如来様への返信であると思います。

よくよく考えてみれば、

本当に大切なもの

本当に大切に思ってくれている人

本当に大切にしなければならぬもの

その存在は知っていたとしても、気づかずに「スルー」していることが多いかもしれまんね。


YBA 仏教青年連盟



【makoto連動企画第三弾】お坊さんYouTuberに聞く

限定公開

3 回視聴 • 2020/12/07

0 0 共有 保存 ...


YBA-仏教青年連盟-
チャンネル登録者数 38人
登録済み

コロナ禍でもなんとか仏法を広めたいと、急増している「お坊さんYouTuber」
 彼らは何故YouTubeを始め、何を伝え、どんな気付きがあったのか？
 福岡県の円徳寺「みんなでおてらいふ/円徳寺チャンネル」の舟川先生と
 福井県の長松寺「長松寺動画配信チャンネル」の藤井先生との対談企画



3年間でチャンネル登録者数 38 人、年 1 回更新の仏青 YouTuber 松本 & 馬嶋コンビが、かつて仏青中央委員を経験し今年から YouTuber となったお坊さん二人と座談！ 彼らはコロナ禍で何を思うのか？ かなり興味深い内容になっています。是非ご覧ください！

中央委員任期終了

古閑大誠 熊本

素晴らしい委員さん達に支えられ、おかげでこの3年間なんとか委員長として過ごせました。多くの人と出会うことができて中央委員での時間は感謝しかありません。この経験を地元熊本で活かして仏青を盛り上げていきたいと思っています。委員長として何ができたかはわかりませんが、3年間本当にありがとうございました！

政本百花 大阪

3年前、仏青経験も無くて知らないことばかり、不安いっぱいだった初めての中央委員会に出席しました。そんな私が今まで中央委員をとても楽しめたのは中央委員のみなさん、指導講師の先生方や事務局の方々のおかげです。中央委員をすることでしか、できない経験をたくさんさせてもらいました。この中央委員のみなさんに出会えて、活動できて本当に良かったです！ありがとうございます！

黒田智美 東京

北は北海道から南は熊本まで全国に散らばる中央委員。2020年は直接顔を合わせる事ができない年でしたが、オンラインで集える時代でよかったとしみじみ思います。そしてそんな環境を整えてくださった事務局の方々にも御礼申し上げます。あつという間の3年間でしたが、とても貴重なご縁をいただきました。ありがとうございます！

小林大輝 東海

中央委員になって6年目ですが、月日の経つ早さに驚いています。中央委員の役割の一つとして全国大会を企画、運営することがあります。残念ながら今回は中止になってしまいましたが、現在模索している状況です。学生の頃の文化祭のような充実感をもう一度味わいたいという方、やる気のある方を中央委員会はお待ちしております。

池上龍之介 備後

ヤッホー!!
皆げんきしてますか？
約6年間京都に行って一番楽しかったことは新幹線にたくさん乗れたこと。(笑)
そして、いろんな人とご縁があったこと！
このご縁も様々な方につながっていったらなってる26歳でした。(笑)
はいじゃー
バイバーイ!!

神野志乃 北海道

いい案が浮かばず会議当日を迎えても、みんなと共に考えることで乗り越えられた。多様なものの見方を知り、楽しい時を過ごし、帰りは心が満タンになっていた。地方にいても本山に集まっても仏青の魅力は変わらず、こうしてご縁はつくられ、つながっていくんだなあ。3年目はなかなか集まらず、達うことの貴重さを知った。ありがとうございます！

田淵真味子 北豊

ド緊張の中、初めて中央委員の会議に参加した日から約3年。『まじっ』を通して、メンバーと密になり、特に表紙に全力で力を入れるという楽しい経験も、もう終わるのかと思う寂しいばかりです。皆様にもっと『日常＋仏教』をお届けしたかったのに、形にするのが難しい！何事も『時間』は大切なモノで、特にコロナ禍で改めて実感しました。限られた『時間』の中で、得られるモノって大きいんだなとそう思えた私の任期。確かな事は、私はこの3年が大好きで感謝いっぱいでした♡

松野 嵩 四州

あつという間の3年間でした。最初は何をやるか等分らないまま会議に参加してたものの徐々に楽しみを感じていました。仏青の全国大会が延期はショックでしたが、来年延期分で携わっていったらと考えています。皆さま、来期もよろしく願いいたします。

松本光生 高岡

仏青に出逢い15年、中央委員として10年活動をさせて頂きました。仏青が私に教えてくれたものはみ教えだけでなく、多くの人の出逢い、多くの経験、そして多くの感動でした。仏青の活動には一区切りとなりますがこれからの人生もみ教えと共に歩み、何かしらの形で仏青に恩返しができたいと思います。紙面ではございしたが、私と関わってくださった多くの方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

坂井有可理 兵庫

3年前に初めて！と集まり東京五輪のタイミングで仏青でオリンピック的な楽しい事やろうか！と会議を重ね何度も意見を交わした日から！本来であればその全国大会を成功させみんなと解散できるはずだった。世の中、世界が新型コロナウイルスと戦う1年になり、誰もがり残した事のある1年になつたろう。そのぶん時間の大切さ、人と会える大切さを知れた1年になったのではないだろうか。最後には会ってありがとうを伝えられるといいなあ!!

たかが3年されど3年。コロナ禍で失われた月日の中で、あらためて大切なことに気づかされた3年間でした。ありがとうそしてさようなら。



2018



2020

2018



2020



MAKOTO no.157

浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟機関紙 2021年1月9日発行
編集 / 発行：仏教青年連盟 広報教材委員会 〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派 宗務所内 TEL：075-371-5181(代)

謎ヲ解キ
ボクラノ今ヲスケエ

KYOTO 2021 YBA FES.

10月23日全国真宗青年の集い本山大会



浄土真宗本願寺派仏教青年連盟

プレ読解き：メッセージを見つけよう（ヒント赤い星）